

a+a

Keisuke Takayasu

Aesthetics

- **Everyday Aesthetics**

Design History

Design Philosophy

- **Social Design**
- **Speculative Design**



哲学思想文化学

西洋史学

日本史学

倫理学

東洋史学

日本学

インド哲学

中国哲学

考古学

日本語学

人文地理学

比較文学

英米文学

英語学

美学

文芸学

日本文学

国語学

フランス文学

音楽学

演劇学

中国文学

ドイツ文学

西洋美術史

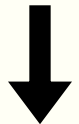
東洋美術史

aesthetics

感性学 (美学)

aesthetics

1 感性 2 美 3 芸術



知覚 触覚
感情
趣味

芸術美 自然美
崇高
幽玄

模倣 創造
作品
参加

学問としての美学

感性的認識の学
諸芸術の理論

18 世紀中葉

Baumgarten が *aesthetica* を提唱

感性 = 美 = 芸術

19 世紀 美学は 芸術の哲学 として展開

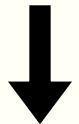
20 世紀 美学は あいまいな学になる

感性 ≠ 美 ≠ 芸術

感性学 (美学)

aesthetics

1 感性 2 美 3 芸術



知覚 触覚
感情
趣味

芸術美 自然美
崇高
幽玄

模倣 創造
作品
参加



The Routledge Companion to Aesthetics

third edition



Edited by Berys Gaut
and Dominic Mclver Lopes

- 13 Phenomenology: Merleau-Ponty and Sartre
- 14 Adorno
- 15 Benjamin
- 16 Foucault
- 17 Postmodernism: Barts and Derrida
- 18 Goodman
- 19 Sibley
- 20 Wollheim

PART II

Aesthetic theory

- 21 Definition of art
- 22 Categories of art
- 23 Ontology of art
- 24 The aesthetic
- 25 Taste
- 26 Aesthetic universes
- 27 Art and evolution
- 28 Value of art
- 29 Beauty

- 30 Interpretation
- 31 Imagination and make-believe
- 32 Fiction
- 33 Narrative
- 34 Metaphor
- 35 Depiction

PART III

Issues and challenges

- 36 Criticism
- 37 Art and knowledge
- 38 Art and ethics
- 39 Art, expression and emotion
- 40 Tragedy
- 41 Humor
- 42 Creativity
- 43 Style
- 44 Authenticity in performance
- 45 Fakes and forgeries
- 46 High art versus low art

DICTIONARY OF AESTHETICS

美学辞典



佐々木健一

東京大学出版会

1 基礎的な諸概念

美学
美
自然美
芸術

2 生産に関する諸概念

模倣
表現
即興
図式
想像力
天才
創造／創造性

3 対象に関する概念

かたち
修辭的文彩
様式
象徴
作品
美的質／美的範疇
価値

4 消費と再生産に関する概念

美的態度
趣味
美的判断
解釈
批評
美的体験
コミュニケーション

近代デザインの美学

高安啓介

近代デザインの美学

近代

近代の意味 一九一〇年前後 近代の区分 伝統の発見 近代以後の近代

造形

造形の語 造形大学 工芸から造形へ 生産から交通へ 造形の解消

構成

構成の語 絵画の構成 非対称性 構成主義 構成教育 過去の構成

形態

形とは何か 形態と形式 形式主義 型とは何か 製品の形態 様式の問題

空間

空間の分類 空間の造形 外部と内部 展示の空間 上演の空間 平面の空間

表現

模倣と表現 構成と表現 表現主義 色彩と表現 技術と表現 記念碑の問題

建築

近代建築 普遍性 簡素さ 透明性 保存の問題 日本の近代

文字

近代書体 構成の理念 形象の否定 音楽の原理 対称と非対称 均質と不均質

美学

美学の仕事 交通とは何か 感性の交通の学 感性の論理 美学と学び

佐々木健一著

美学への招待

増補版



中公新書

1741

源河 亨著

おいしい 「美味しい」とは何か

食からひもとく美学入門



中公新書

2713

芸術の学問

美術史
音楽学
演劇学
映像学
文芸学

感性学（美学）
aesthetics

- 諸ジャンルに共通すること
- 諸ジャンルに収まらないこと

芸術の3段階

ビデオゲームでも
ミュージックビデオでも

生産 production

- 即興
- 労働
- 参加
- 創造

対象 object

- 作品
- 価値
- 複製
- 虚構

受容 reception

- 趣味
- 評価
- 批評
- 解釈

芸術の外側へ

現代の芸術

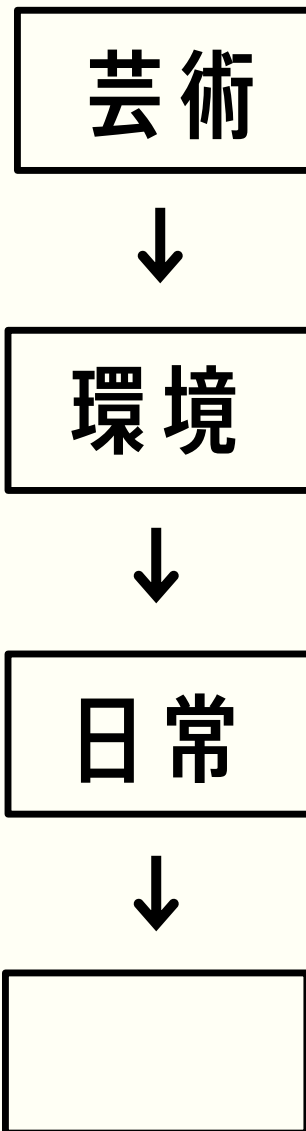
定義はできない
境界が曖昧なため

説明はできる
周縁に注目してみる

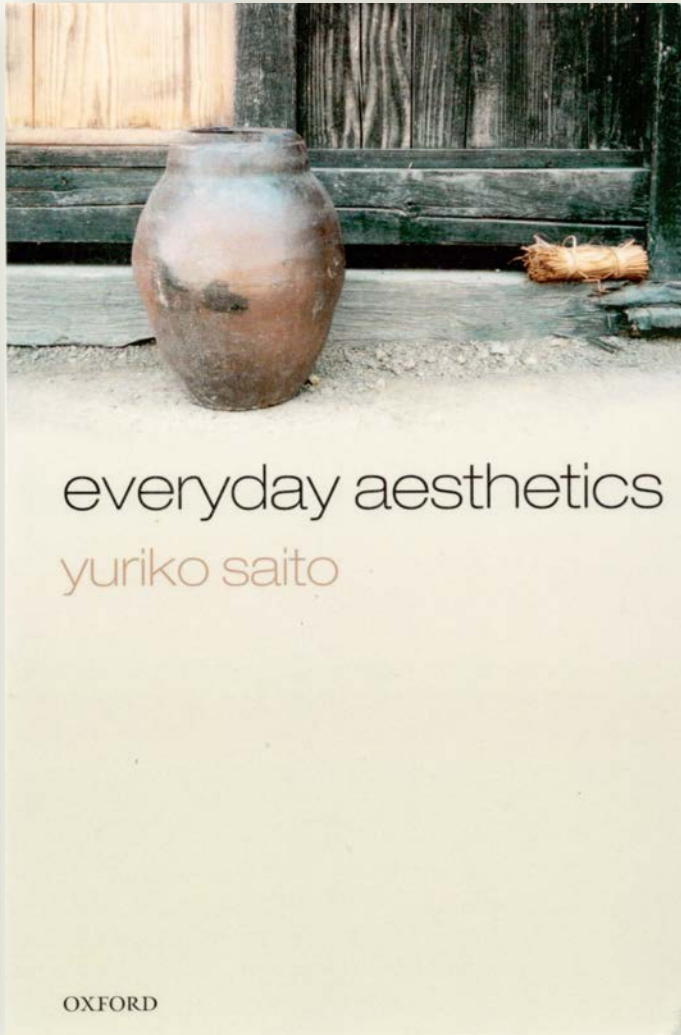


美学のテーマ

美学はいまでも芸術の哲学としての性格を残している。けれども、美学がその名のとおり美的なものを考える分野ならば、芸術とみなされないものも考察の対象としてもよいのではないか。そうした認識から、20世紀の末から環境美学がいわれるようになり、21世紀からは日常美学が盛んになった。

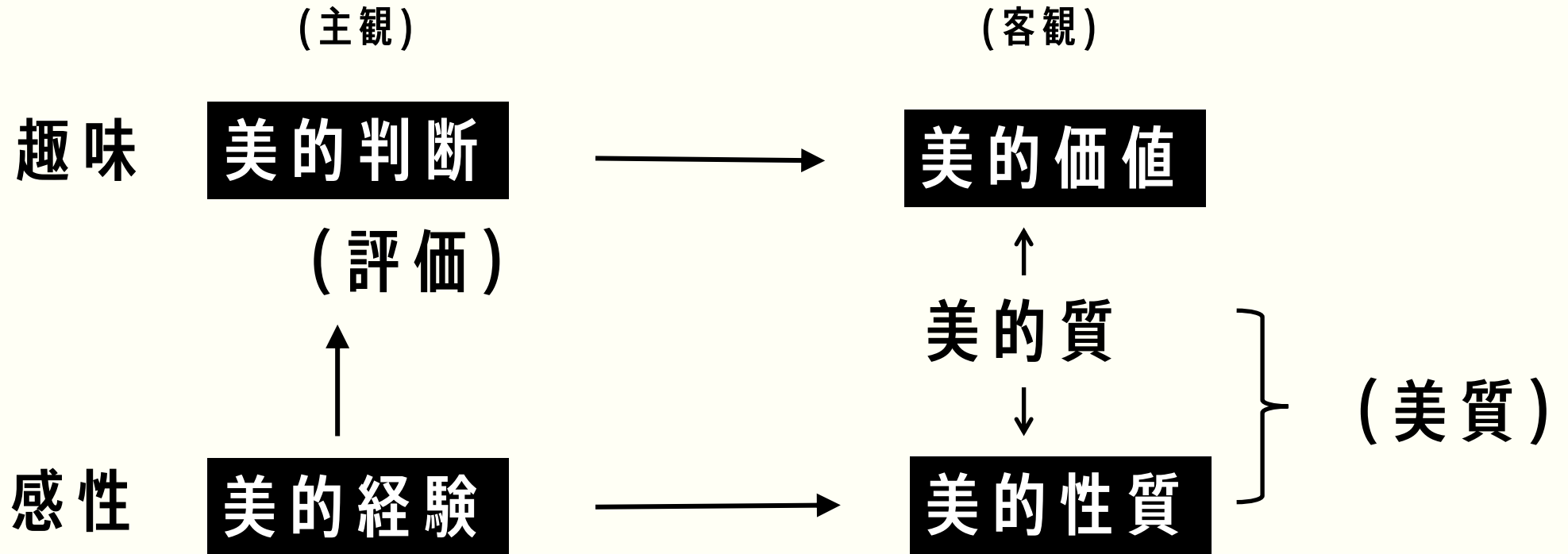


次は？



美学の基本設定

対象が何であっても



なつかしい

さわやか

いさましい

うっとうしい

さびしい

おそろしい

かなしい

つつましい

性質を表す語

わくわくする

ほろにがい

おちついた

わびしい

かわいい

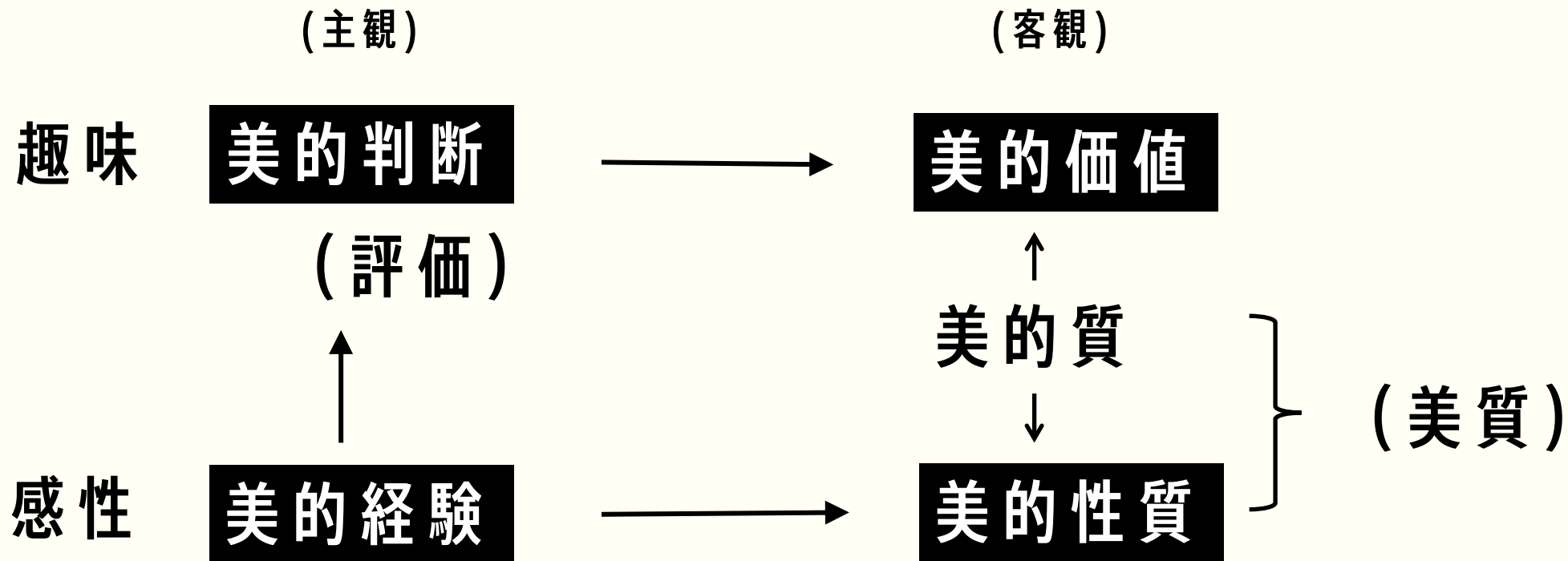
たのしげな

おもしろい

おぞましい

美学の基本設定

対象が何であっても



言葉への注目

linguistic turn

A major shift in philosophical methodology that occurred in the early 20th century, particularly within analytic philosophy.

This shift involves a move away from traditional epistemological concerns towards a focus on linguistic structures.

言語論的転回

意識の問題とされたきたことを
言語の問題としてとらえかえす

美学の方法

美質について語る言葉に注目
芸術について語る言葉に注目

従来の美学もすでに、感性・美・芸術について論じているようで、実際のところ、感性・美・芸術にまつわる語について論じてきた向きがある。

芸術を語る言葉

一般概念

議論するための言葉
表現 形式 様式

汎用的

専門用語

分析するための言葉
破風 操演 調性

専門的

修辞表現

描写するための言葉
空気のような 懐かしい

日常的

芸術の3段階

ビデオゲームでも
ミュージックビデオでも

生産 production

- 即興
- 労働
- 参加
- 創造

対象 object

- 作品
- 価値
- 複製
- 虚構

受容 reception

- 趣味
- 評価
- 批評
- 解釈

なつかしい

さわやか

いさましい

うっとうしい

さびしい

おそろしい

かなしい

つつましい

性質を表す語

わくわくする

ほろにがい

おちついた

わびしい

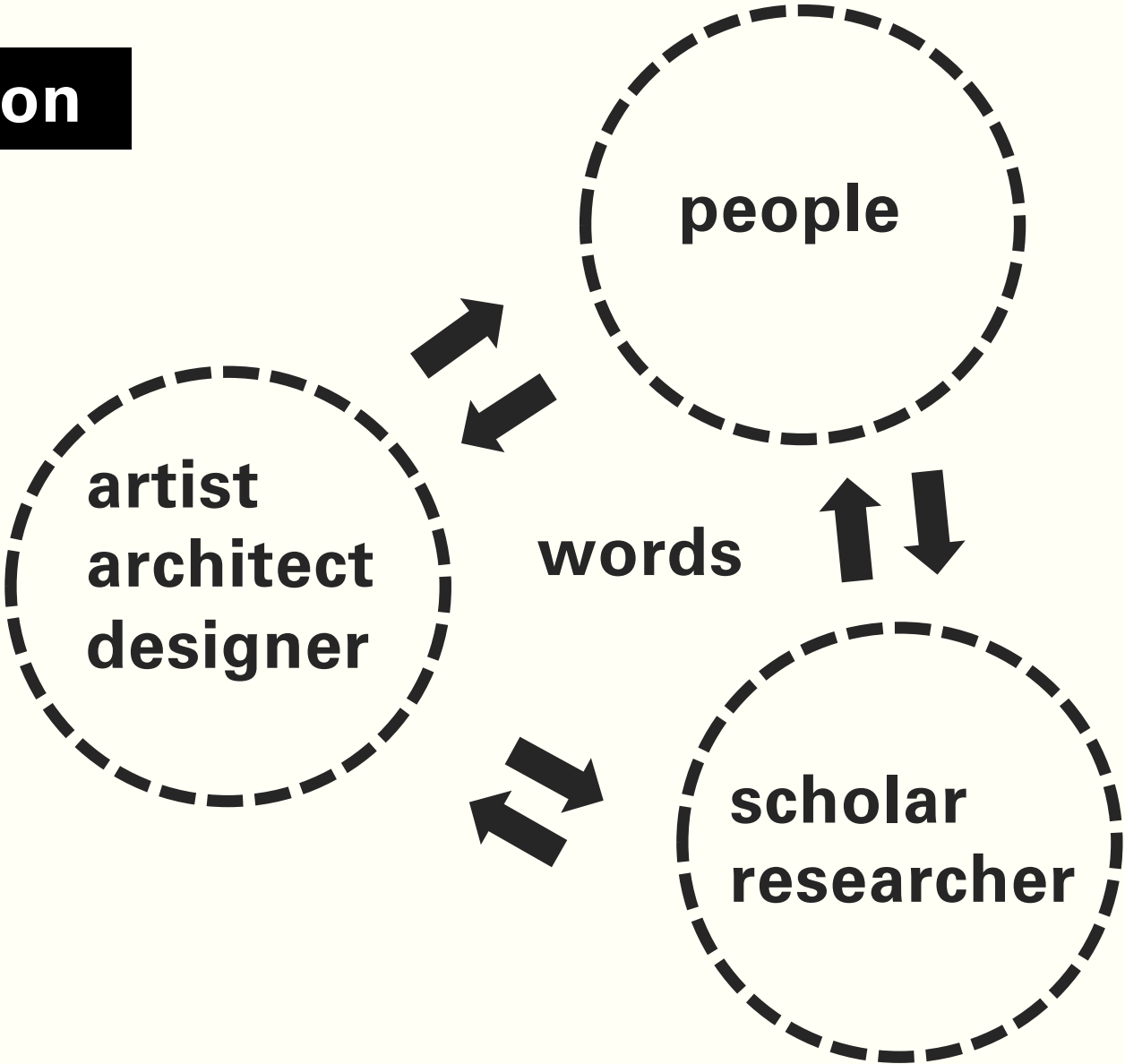
かわいい

たのしげな

おもしろい

おぞましい

communication



言葉への注目

講義（高安）	2025	2026
前期（春夏）	芸術学基礎 ↓	近代デザイン ↓
後期（秋冬）	応用芸術論	現代デザイン

前期 水5
講義 (高安)
芸術学基礎

表現

構成

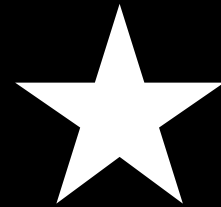
形式

内容

作品

近代

芸術



基本用語の検討

近代の芸術

現代の芸術

芸術の哲学

後期 水5
講義 (高安)
応用芸術論

歴史

装飾

簡素さ

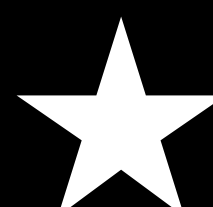
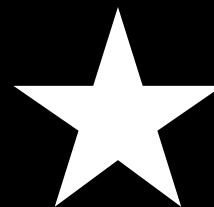
機能

美学

倫理

役に立つとは
美学について
倫理について
良いデザイン

評価



講義（高安）	2025	2026
前期（春夏）	芸術学基礎 ↓	近代デザイン ↓
後期（秋冬）	応用芸術論	現代デザイン

前期 水5
講義 (高安)
近代デザイン

近代

造形

構成

形態

空間

表現

文字



近代デザインとは
造形の基本原理
デザインの用語
デザインの歴史

後期 水5
講義 (高安)
現代デザイン

歴史

環境

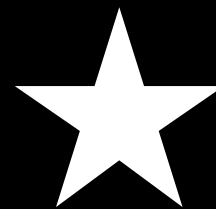
社会

仕事

道具

生活

未来



現代のデザイン
関係全体を考える
人と人とを結ぶ
物と物とを結ぶ

研究室での学び

大阪大学美学研究室

田中
美学の探求

美学研究

工芸研究

高安
美学の応用

映画研究

デザイン研究

東
メディア

映像研究

横断的研究

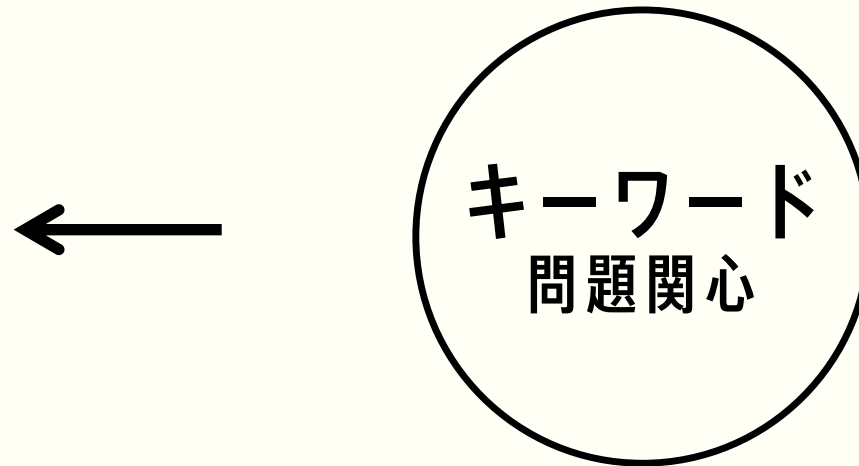
大分野	小分野	研究対象	キーワード
美学 美学史	日常美学 環境美学	対象物 思想家	感情 触感 美的判断 美的経験
美術	現代アート	作品／事例	参加 福祉
映画 映像 写真	記録映画 実験映画	作品／事例	恐怖 孤独 映画館
工芸 書	民藝 手芸 染織	作品／事例	手仕事 用即美
デザイン	ファッション タイポグラフィ	作品／事例	創造性 批評 評価

何について論じるか

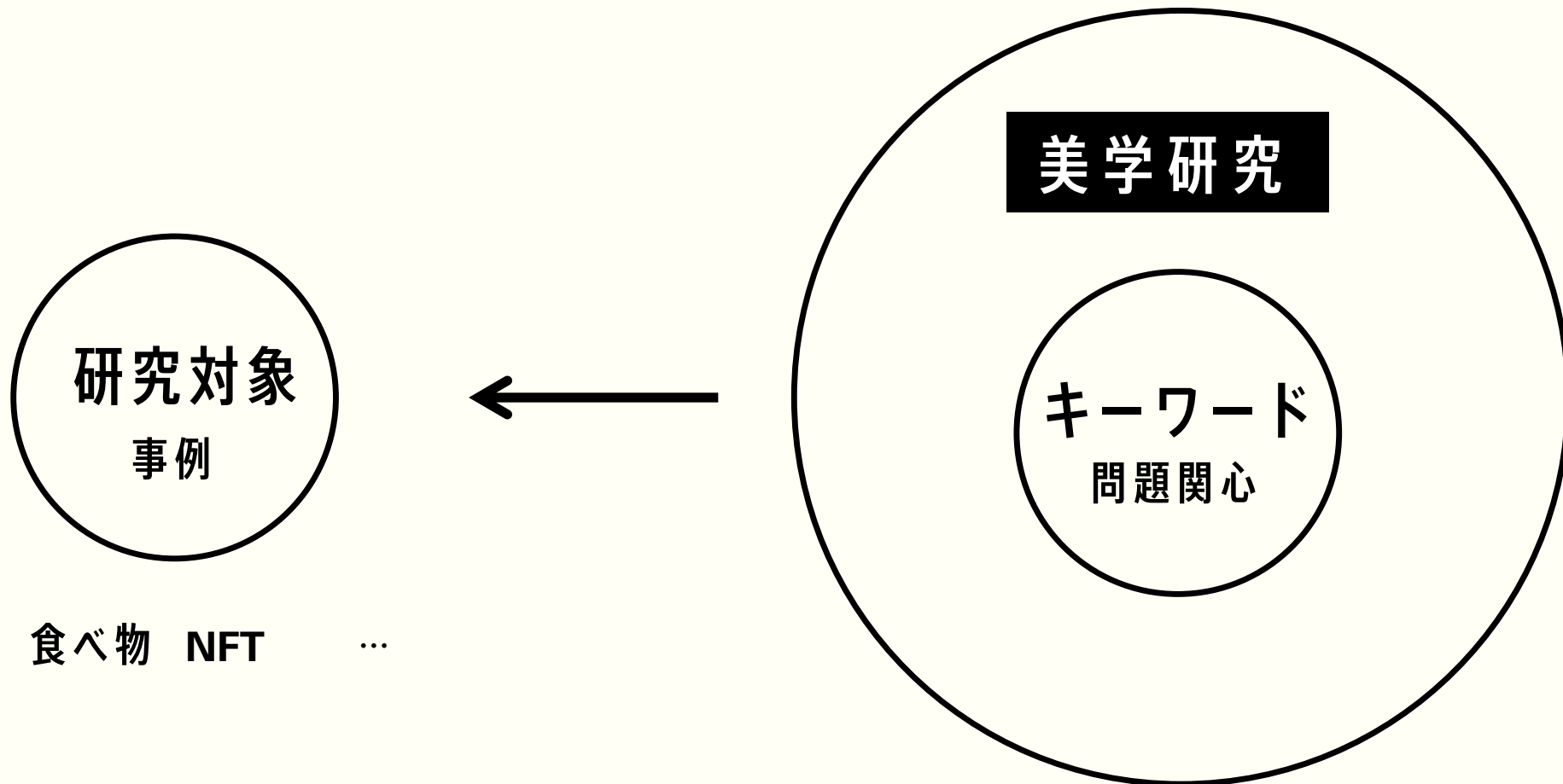


- 具体的な思想
- 具体的な作品
- 具体的な事例

どんな関心から



- 固有名詞ではありえない
- 分野の言葉でなくていい
- 美学の言葉でなくていい

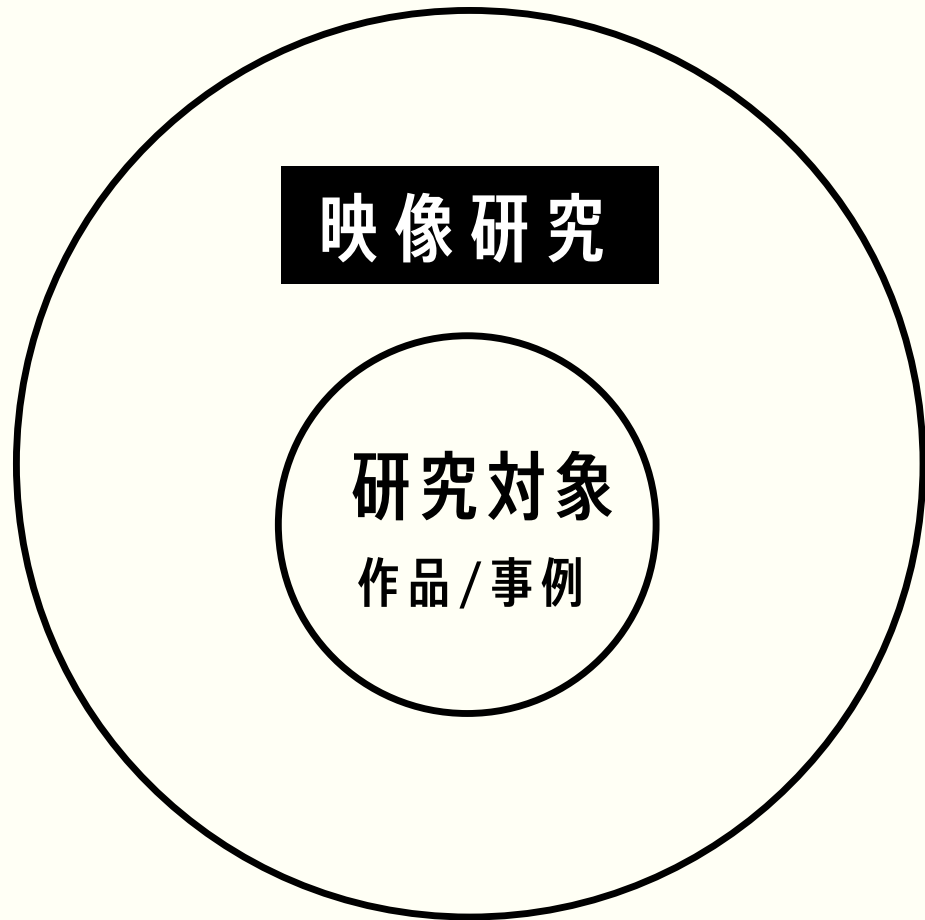


美学史研究

研究対象
思想家



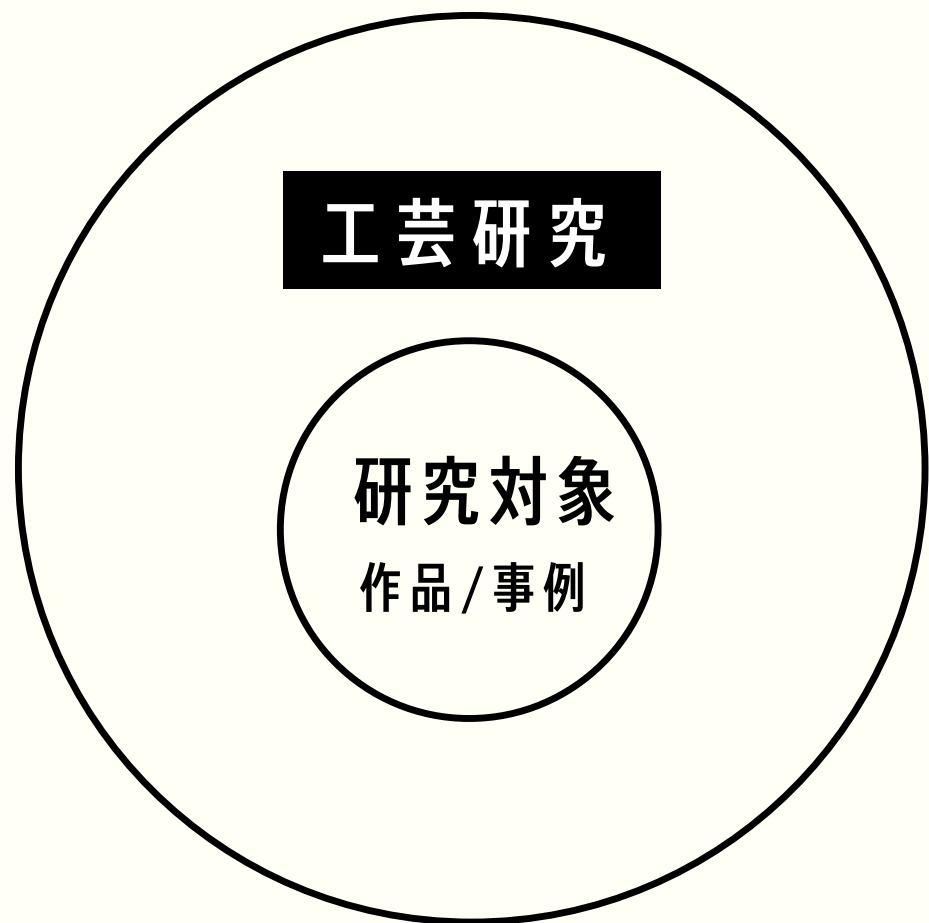
キーワード
問題関心



(美学研究)



恐怖 音 映画館 ...



(美学研究)



子ども 職人 地域 ...

大分野	小分野	研究対象	キーワード
美学 美学史	日常美学 環境美学	対象物 思想家	感情 触感 美的判断 美的経験
美術	現代アート	作品／事例	参加 福祉
映画 映像 写真	記録映画 実験映画	作品／事例	恐怖 孤独 映画館
工芸 書	民藝 手芸 染織	作品／事例	手仕事 用即美
デザイン	ファッション タイポグラフィ	作品／事例	創造性 批評 評価

研究分野



研究対象



キーワード

研究鍵語

大分野 > 小分野

何について学ぶのか
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど

問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

研究対象



キーワード

研究鍵語



タイトル

研究題目



何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど



問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい



研究対象が含まれる
問題関心が含まれる
どう対象を論じるか

題目にはキーワードと研究対象を含める

題目は論文の一番の要旨

例 W・モリスの工房における**徒弟制度**

分野から絞り込まれた研究対象

キーワード 問題関心／視点／切り口

例 生成AIアートにおける**作者の問題** XXXに注目して

副題で方法論をしめしてもよい

キーワード 問題関心／視点／切り口

研究分野



研究対象



キーワード

研究鍵語

日常美学

何について学ぶのか
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

日常の風景

何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど

親しみやすさ

問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

研究分野



研究対象



キーワード

研究鍵語

書道

何について学ぶのか
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

大字がな

何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど

評価

問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

研究分野



研究対象



キーワード

研究鍵語

書籍デザイン

何について学ぶのか
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

プライベートプレス

何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど

装飾

問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

研究分野



研究対象



キーワード

研究鍵語

染織（民藝）

何について学ぶのか
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

琉球の織物

何について論じるか
分野からしぼり込む
作品や取り組みなど

絣 かすり

問題関心をあらわす
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

何について論じるか



- 具体的な思想
- 具体的な作品
- 具体的な事例

どんな関心から



- 固有名詞ではありえない
- 分野の言葉でなくていい
- 美学の言葉でなくていい



芸術の3段階

ビデオゲームでも
ミュージックビデオでも

生産 production

- 即興
- 労働
- 参加
- 創造

対象 object

- 作品
- 価値
- 複製
- 虚構

受容 reception

- 趣味
- 評価
- 批評
- 解釈

なつかしい

さわやか

いさましい

うっとうしい

さびしい

おそろしい

かなしい

つつましい

性質を表す語

わくわくする

ほろにがい

おちついた

わびしい

かわいい

たのしげな

おもしろい

おぞましい

キーワードにまつわる問い

本質をめぐる問い	…とは何か …の条件 …の要素 …の種類
価値をめぐる問い	…はなぜ必要か …はどんな価値があるか
由来をめぐる問い	…はいつ始まったのか …はどう変化したか
展望をめぐる問い	…はどうありうるか …はどうあるべきか

装飾とは何か

焼きものとは何か

情報とは何か

衣服とは何か

キーワードを定めて
対象を根本から問い直す
こうした仕事こそ
あなたの＜美学＞です

書物とは何か

風景とは何か

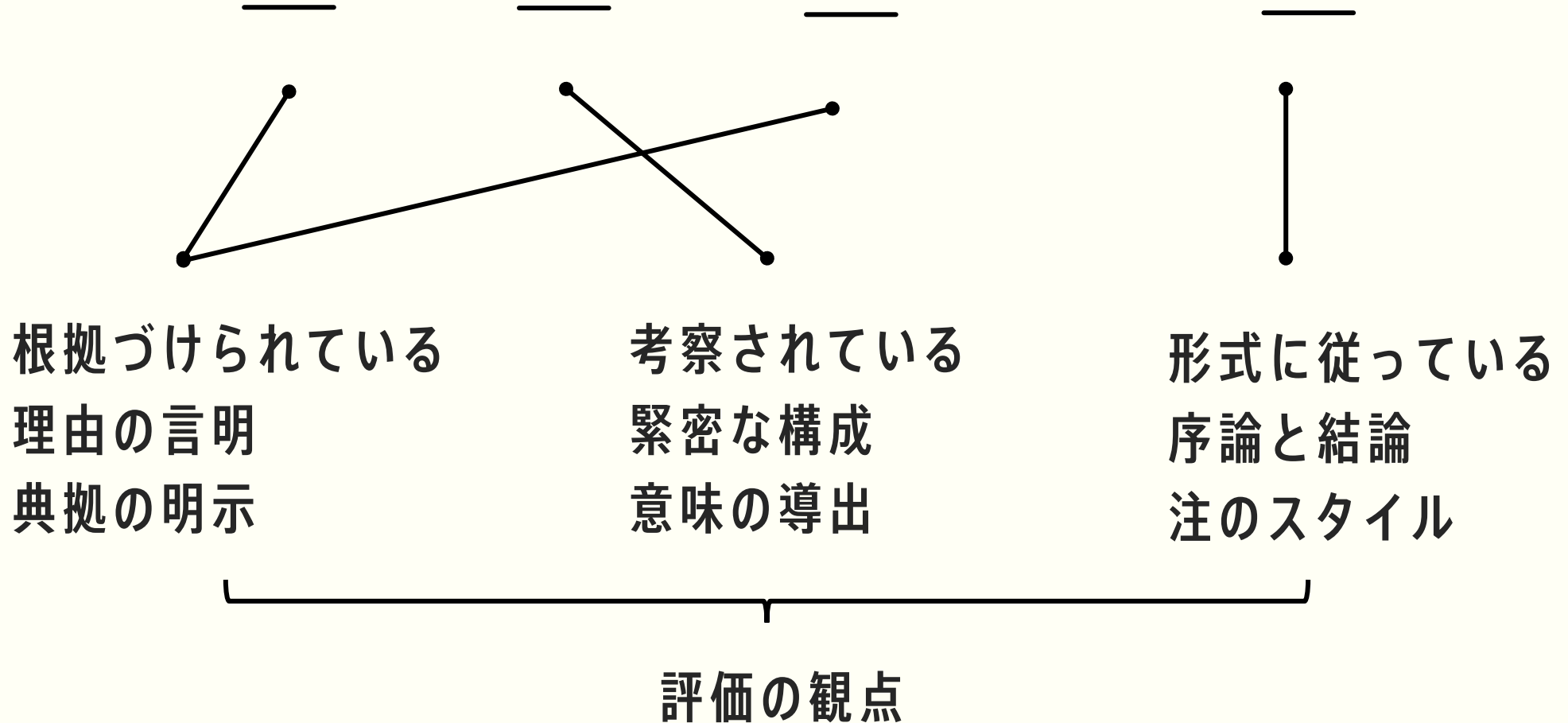
機械は感じているか

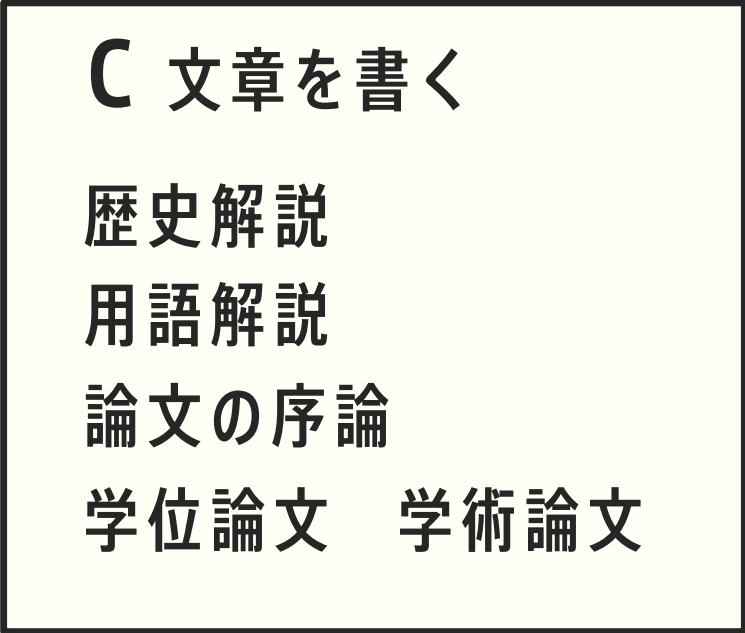
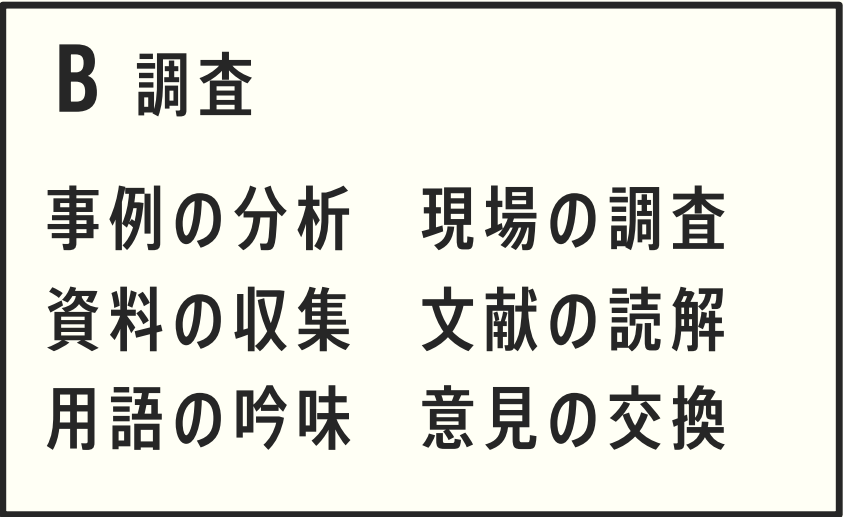
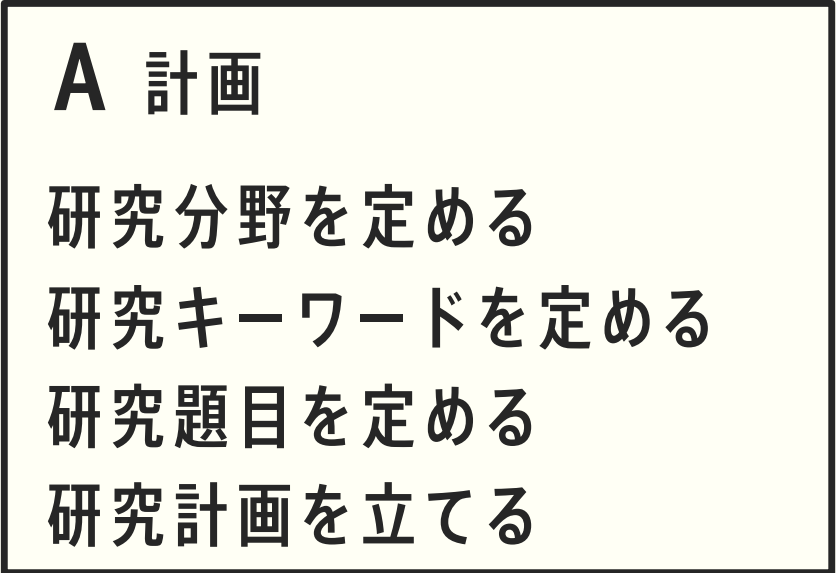
写真とは何か

研究室での学び

論文とは何か？

信頼のおける知識を伝える信頼のおける文章の形式





ABCのあいだを行き来する

卒業論文

北大路魯山人における食と器

はじめに

第1章 器の使用

○○○
○○○
○○○

第2章 器の鑑賞

○○○
○○○
○○○

第3章 器の制作

○○○
○○○
○○○

用語解説 (準備作業として)

器 (うつわ)

器の条件 ① ② ③
生活用品としての器
美術品としての器

器の制作

土選び粘土をつくる
粘土を器のかたちにして乾かす
器に絵付けをする
器に釉薬をほどこす
器を窯で焼く

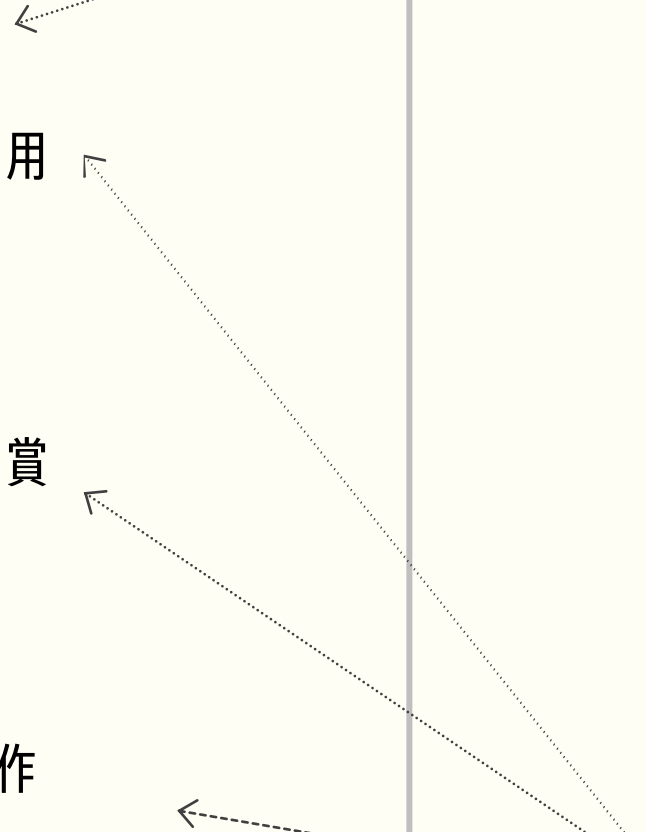
器の形状 皿 碗 鉢 盃 杯 壺

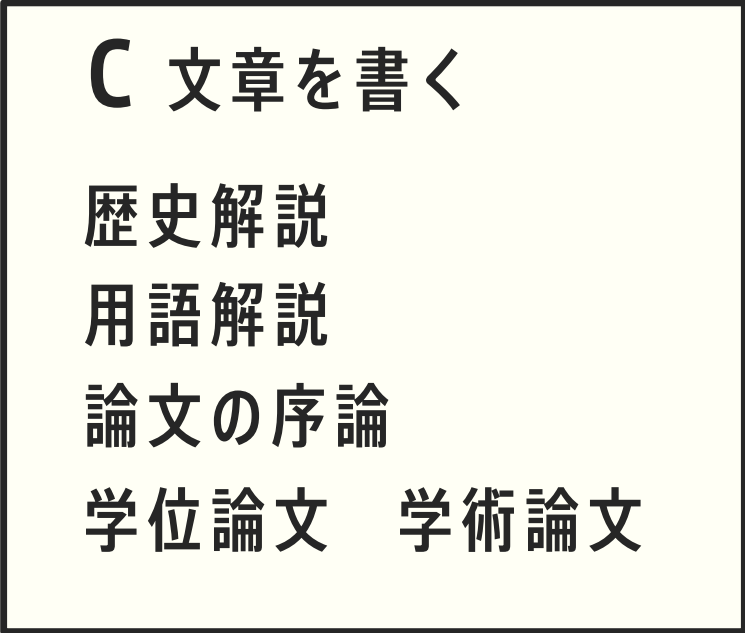
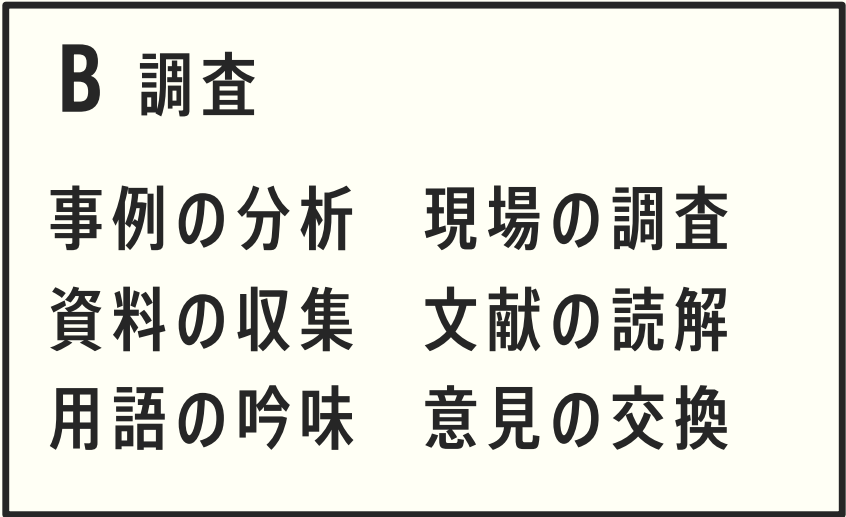
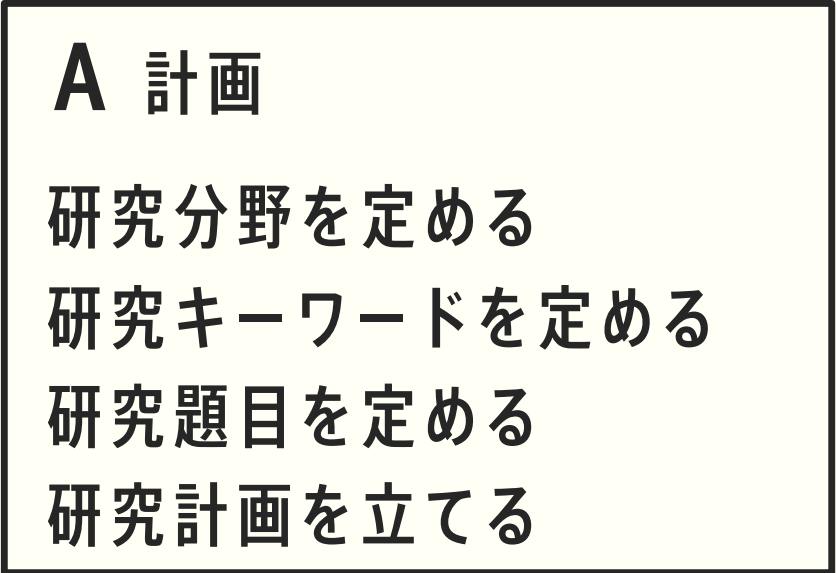
器の模様 文様 絵柄 文字

器の焼成 釉薬の有無

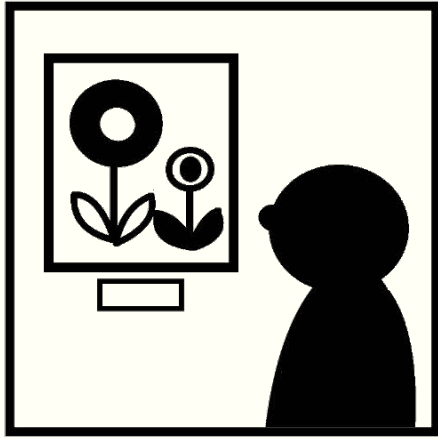
食と器 (魯山人)

使用する 鑑賞する 制作する

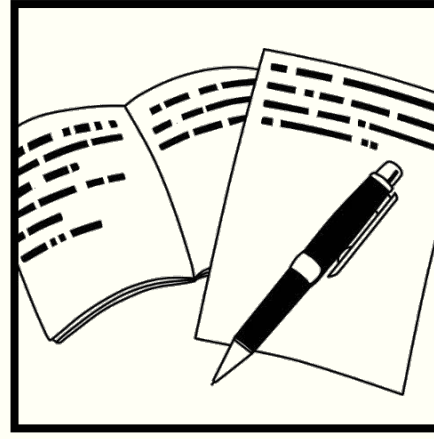




ABCのあいだを行き来する



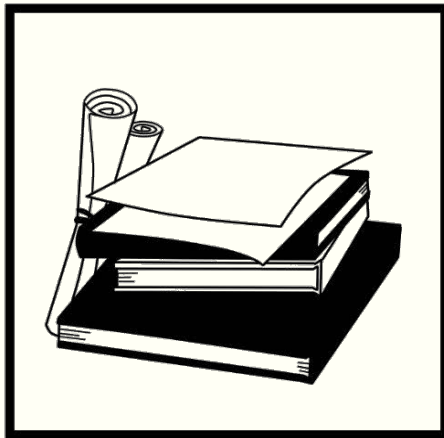
作品を観察する



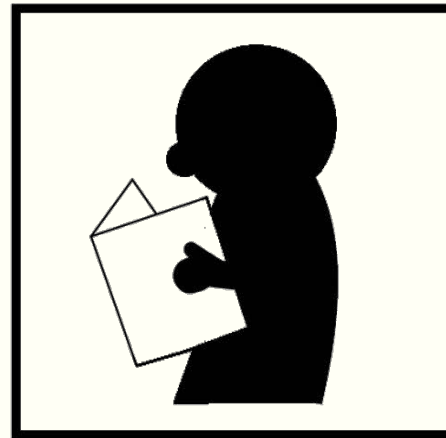
現場を調査する



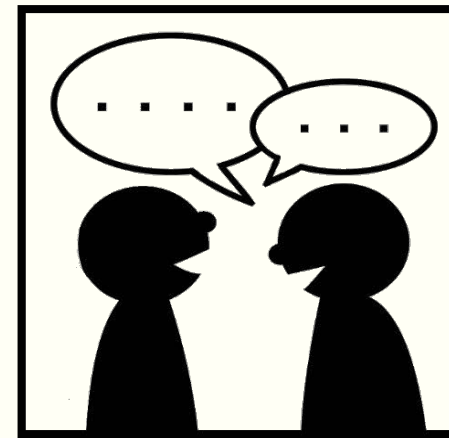
用語を吟味する



資料を収集する



文献を読解する



意見を交換する

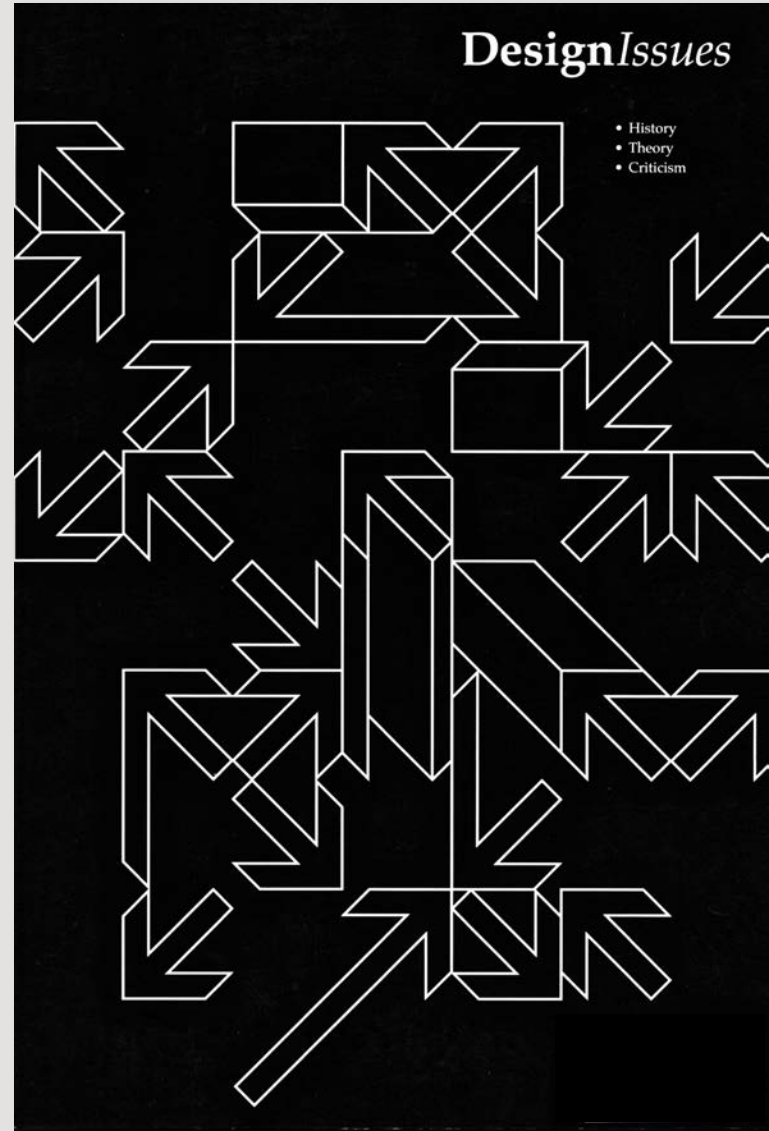
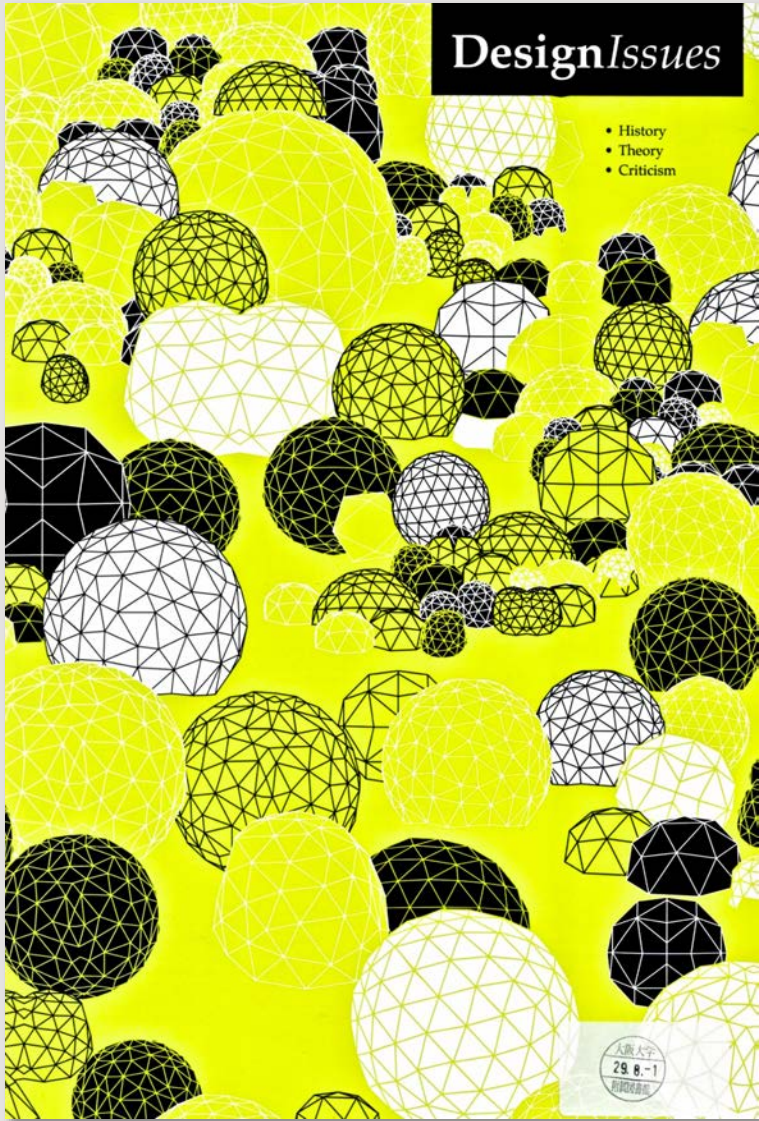
BRITISH
JOURNAL
OF
AESTHETICS

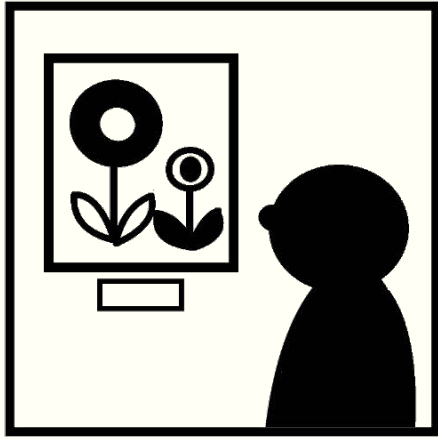
VOLUME 57
NUMBER 1
JANUARY 2017

<https://academic.oup.com/bjaesthetics>

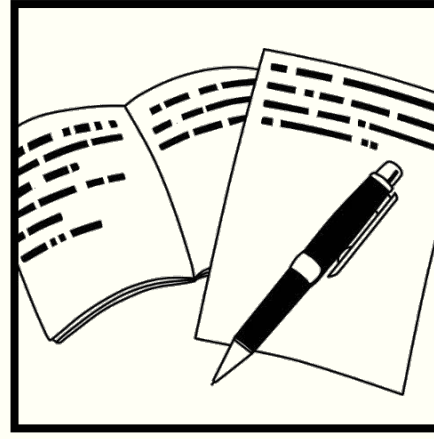
OXFORD
UNIVERSITY PRESS

洋雑誌を読む

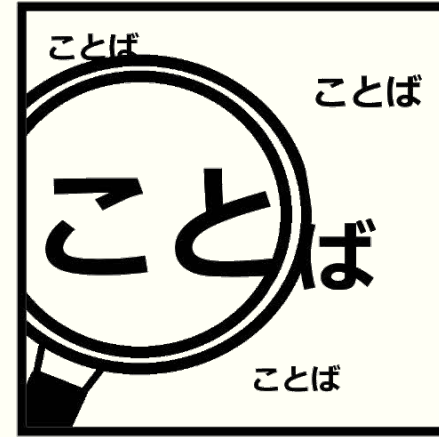




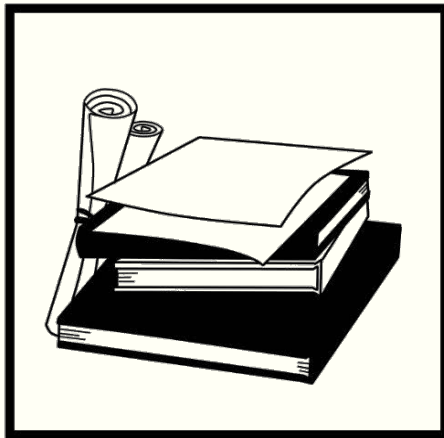
作品を観察する



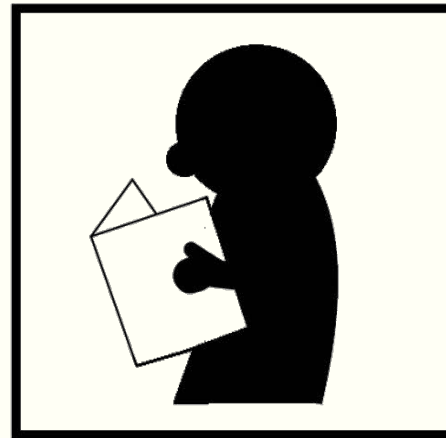
現場を調査する



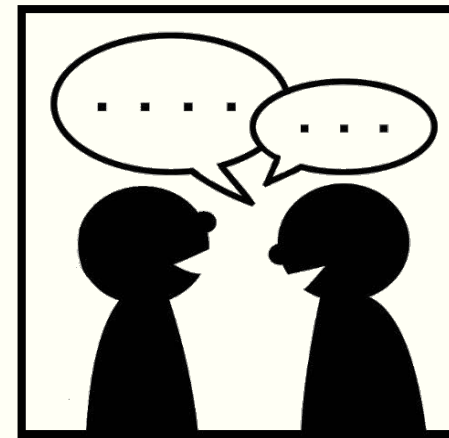
用語を吟味する



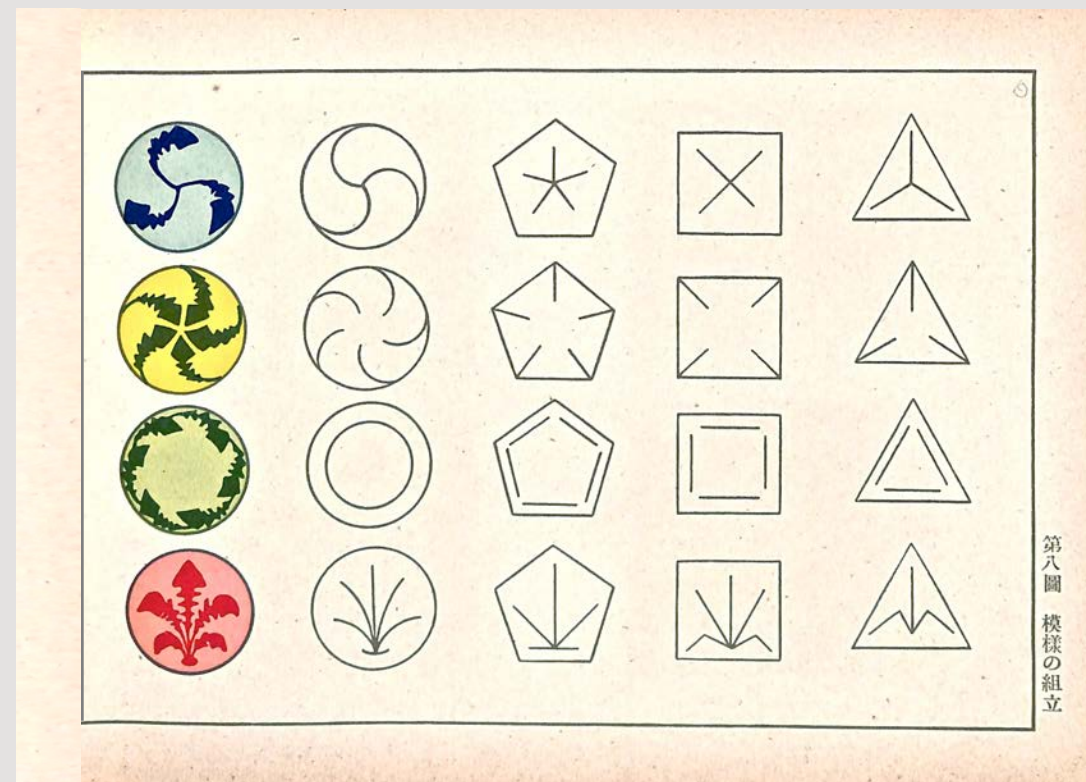
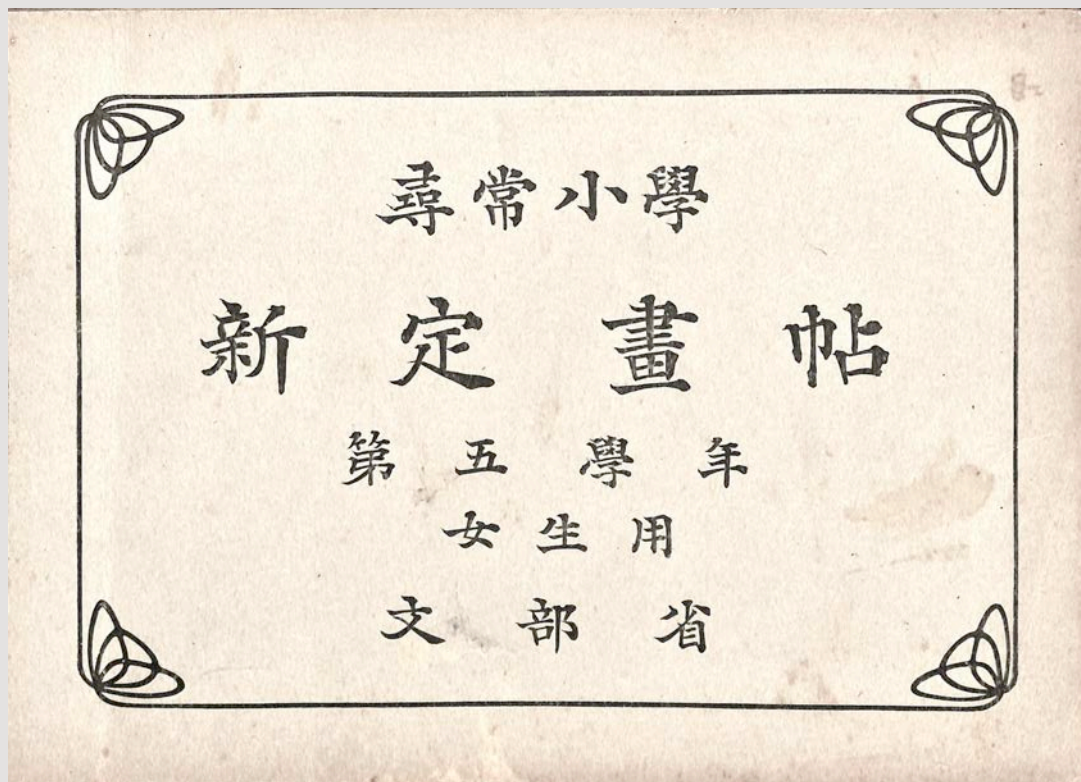
資料を収集する



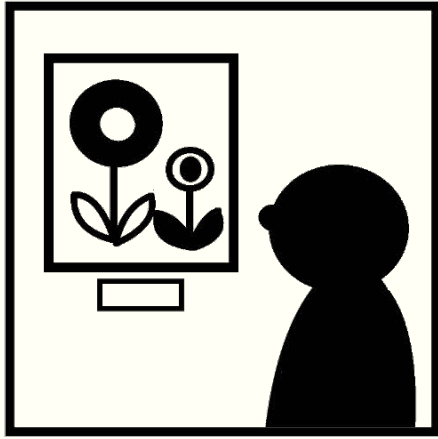
文献を読解する



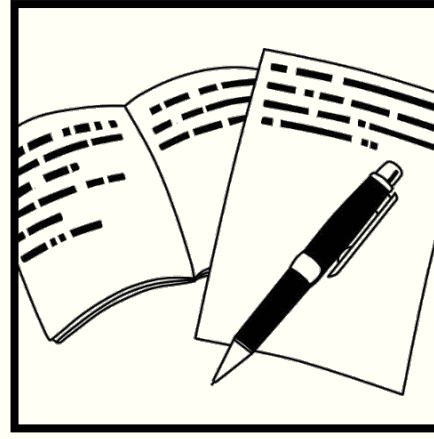
意見を交換する



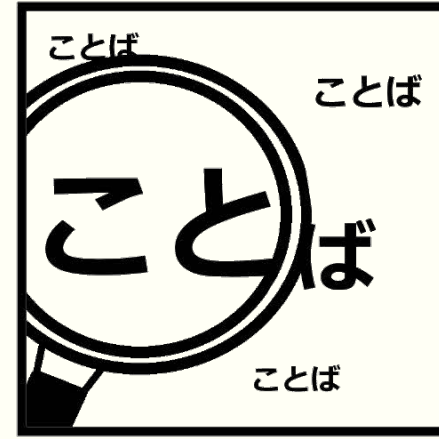
資料を調査する



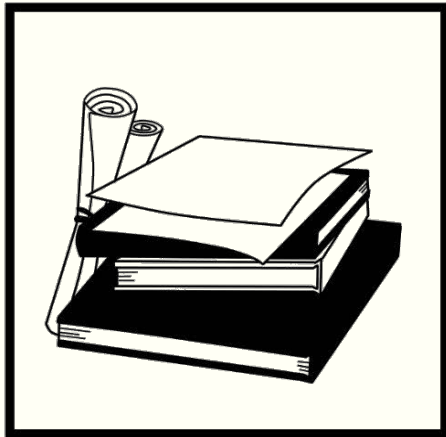
作品を観察する



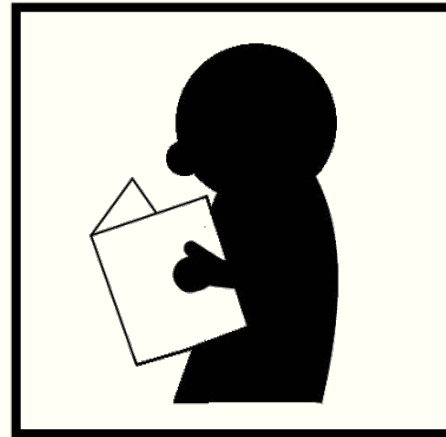
現場を調査する



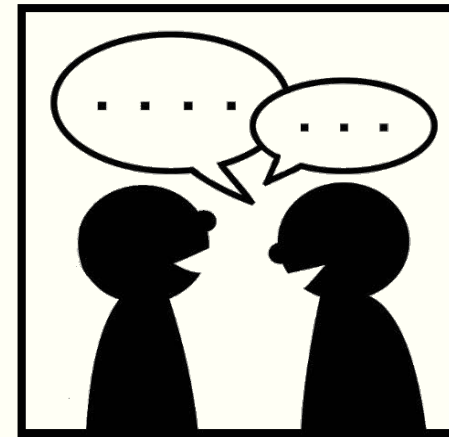
用語を吟味する



資料を収集する



文献を読解する



意見を交換する



現場を調査する

課題をとおして研究の力をつける

4月/10月

比較の表にもとづいて自分の研究を簡潔に紹介する

研究の計画性
研究の一貫性

5月/11月

小さな話題について1ページの文献表をつくる

情報収集能力
情報整理能力

6月/12月

多くの文献にあたったうえで外国語の文献を一つ紹介する

早く多く読む力
丁寧に正確に読む力

7月/1月

短めの文章を作成。
歴史解説。用語解説。
論文の序論。

簡潔にまとめる力
分かりやすく書く力



design study

現代の芸術

定義はできない
境界が曖昧なため

説明はできる
周縁に注目してみる



design study



design history

- **modern**
- **contemporary**

design philosophy

- **ethics**
- **aesthetics**

How can we trace design history before the term “design” came into use?

- **in pre-modern periods**
- **in non-Western contexts**
- **In non-English speaking areas**



Japanese Words for Design

old word

意匠 ishō design

late 19th century
early 20th century



工芸 kōgei craft 図案 zuan design
装飾 sōshoku ornament decoration

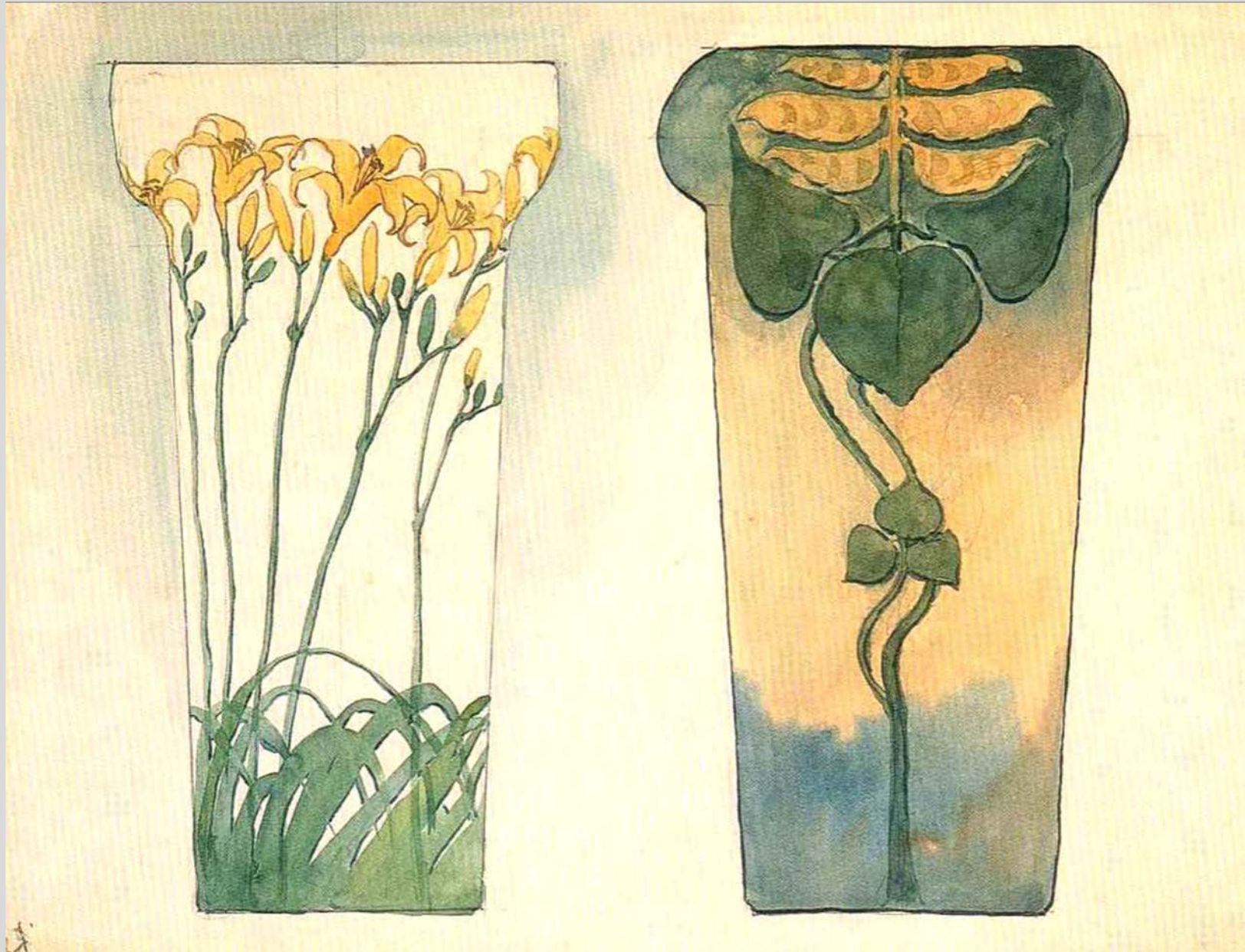
modernism
after 1920s



構成 kōsei composition construction
造形 zōkei shaping Gestaltung

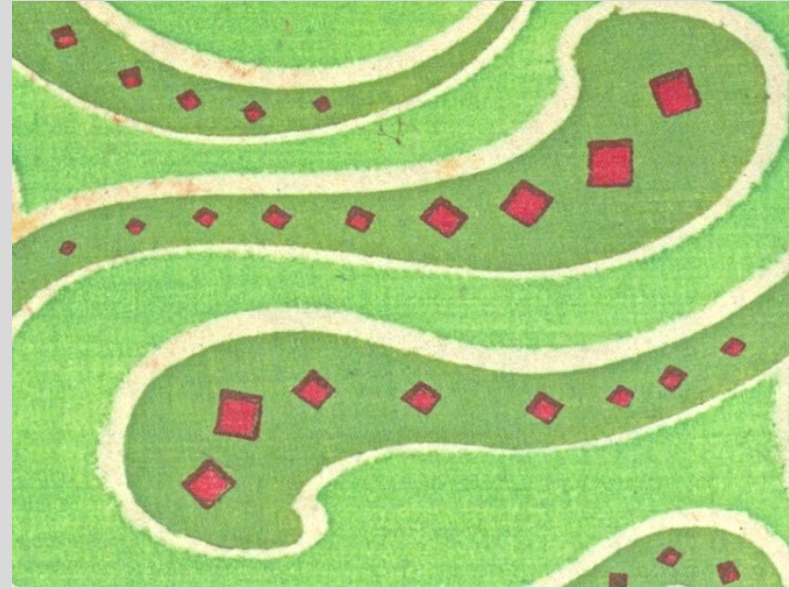
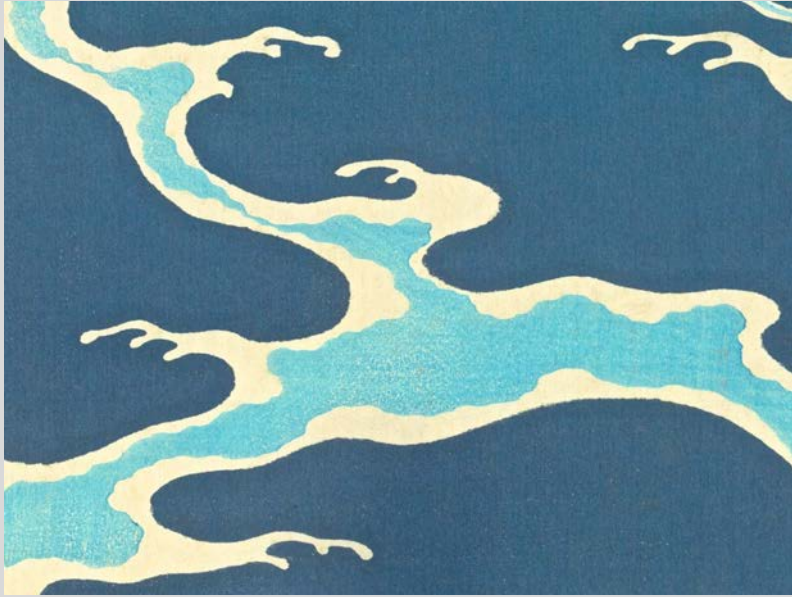
late 1950's ~

デザイン dezain design



Chu Asai ca. 1904

Sea Route
1902



A Thousand of
Butterflies
1904





岡田三郎助 1907



橋口五葉 1911



杉浦非水 1914

Japanese Words for Design

old word

意匠 ishō design

late 19th century
early 20th century



工芸 kōgei craft 図案 zuan design
装飾 sōshoku ornament decoration

modernism
after 1920s



構成 kōsei composition construction
造形 zōkei shaping Gestaltung

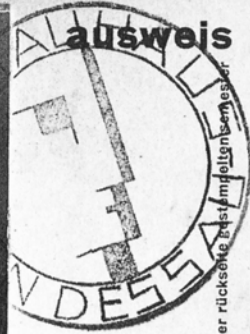
late 1950's ~

デザイン dezain design

Walter Gropius Bauhaus Dessau 1926



<https://www.bauhaus-dessau.de/unesco-weltkulturerbe-1.html>



gültig für die auf der rückseite festgedruckten Semester

bauhaus dessau

Iwa Yamawaki

ist studierende des bauhauses in dessau



gültig für die auf der rückseite gestempelten semester

bauhaus dessau

Mityko Yamawaki

ist studierende des bauhauses in dessau

Japanese Words for Design

old word

意匠 ishō design

late 19th century
early 20th century



工芸 kōgei craft 図案 zuan design
装飾 sōshoku ornament decoration

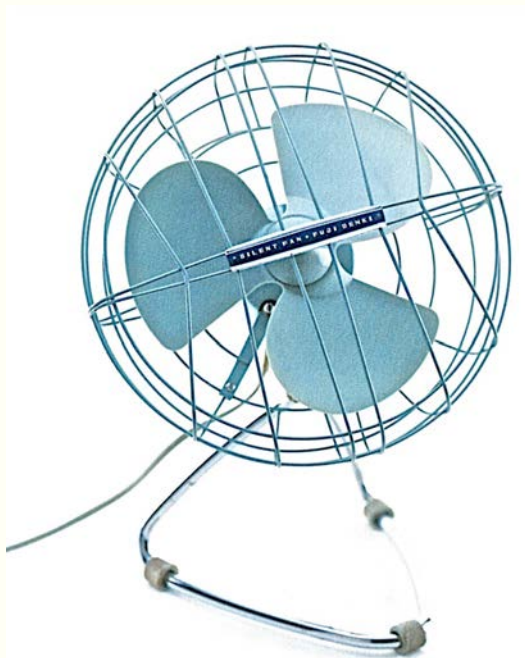
modernism
after 1920s



構成 kōsei composition construction
造形 zōkei shaping Gestaltung

late 1950's ~

デザイン dezain design



1958 皆川 正



1958 岩田義治



Japanese Words for Design

old word

意匠 ishō design

late 19th century
early 20th century



工芸 kōgei craft 図案 zuan design
装飾 sōshoku ornament decoration

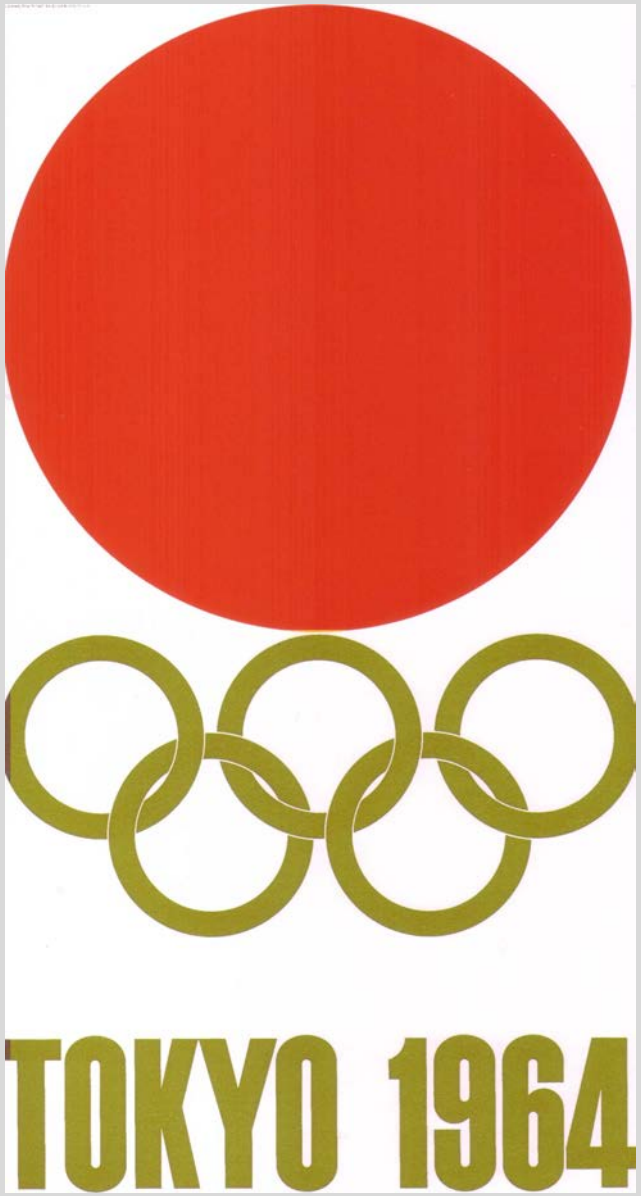
modernism
after 1920s



構成 kōsei composition construction
造形 zōkei shaping Gestaltung

late 1950's ~

デザイン dezain design



Japanese Words for Design

old word

意匠 ishō design

late 19th century
early 20th century



工芸 kōgei craft 図案 zuan design
装飾 sōshoku ornament decoration

modernism
after 1920s



構成 kōsei composition construction
造形 zōkei shaping Gestaltung

late 1950's ~

デザイン dezain design

いまのうちにできること

哲学思想文化学

西洋史学

日本史学

倫理学

東洋史学

日本学

インド哲学

中国哲学

考古学

日本語学

人文地理学

比較文学

英米文学

英語学

美学

文芸学

日本文学

国語学

フランス文学

音楽学

演劇学

中国文学

ドイツ文学

西洋美術史

東洋美術史

大阪大学文学部



専修

専門とする研究分野
研究室（ゼミ）ごとに
教育がおこなわれる

1年次11月に専修決定
2年次から専修の授業

専修変更の申請は
2年次の3月まで可能



多彩な分野
多様な教員

専門の研究を通して
自ら知識を生み出す

専門（学びを深める）
教養（学びを広げる）



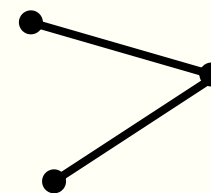
専門分野20以上
どの授業もとれる



各分野の一線で
活躍する教員



少人数のゼミでの
ゆきとどいた指導



バランスのよい
はじめての学び

1回生のうちにできること

幅広い読書により
研究分野を定める

風景・衣服・陶芸 など

分野の通史を読み
通説を知っておく

美学・映画・写真 など

美学のゼミで定めていくこと

研究分野

芸術といっても色々
研究分野をまず絞る
分野の専門家になる

キーワード

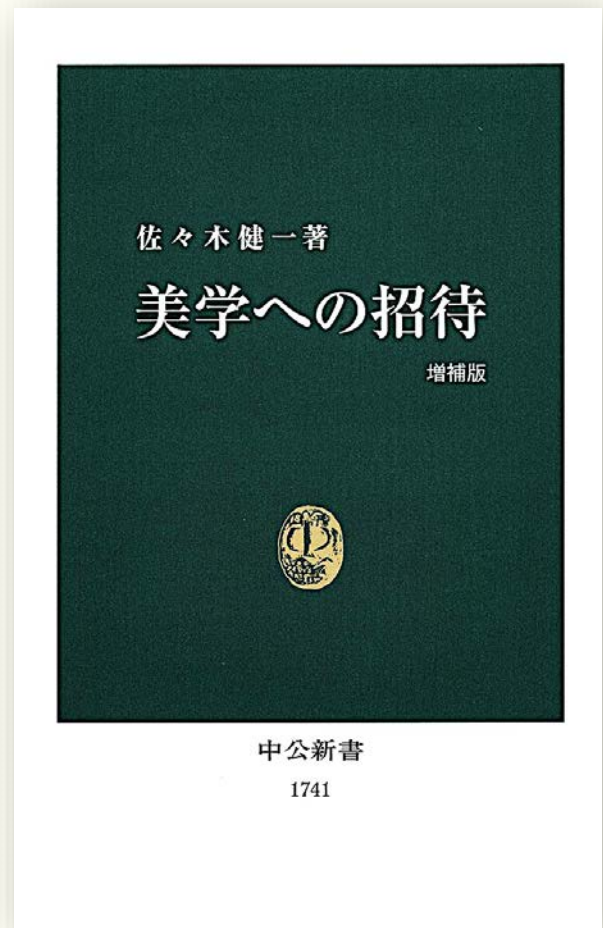
研究鍵語

自分の関心を一語で
研究に一本筋を通す
他の人も覚えやすい

タイトル

研究題目

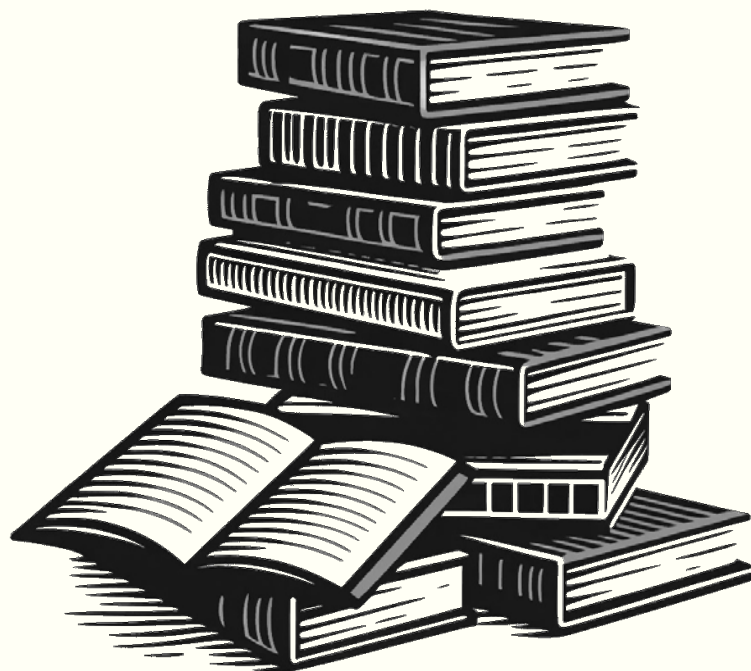
自分の関心を深める
独自の切り口を表す
独自の方法論を表す



興味を持ったなら概説書を読もう



面白くなくても通史に目を通そう



数冊ではなく多くの本を

大阪大学美学研究室

- アートの新領域を切り開く
- 信頼のおける知識を生み出す
- 面白く分かりやすく伝える

